

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	保育者・教育者の食育力を向上させるための養成教育のあり方に関する研究
所 属	人間発達学部 子ども教育学科
氏 名	進藤容子
<p>【概要】</p> <p>幼児教育・保育で、食育は子どもの生活および教育の基盤となる重要なものである。しかし、子どもにもっとも密接に関わる教師や保育士の食育実践力は十分といえない。とくに、若い保育者・教育者では、生活経験の乏しさなどもあり食への関心やスキルに課題が見られる。現在、幼児教育・保育現場は、比較的若い保育者で構成されており、経験知の継承もむずかしい。そこで、保育者養成教育や保育者研修における、食育実践力向上に向けた有効な取組みについて、検討し提案することを目的に研究を行っている。とくに、課題を見出し、効果的な教育方法を検討する上で不可欠な、「食育力評価指標」の構築を進めているところである。</p> <p>食育を実践するためには、人体、栄養、食品、食事、流通、食文化などの知識と同時に、食育対象を理解することで問題の本質を明かにし、介入方法を決定し、計画、実施、評価する力が望まれる。また、食育力を高めるうえで、自然と人とのつながりへの気づき、環境への関心の育成が欠かせない。食育力向上をめざす取組みでは、科学的な思考過程の体験(問題解決行動の体験)が可能となる。このように本研究テーマは、養成教育全般において意義深い。</p>	
キーワード	食育 食と環境 子どもの食 保育者・教育者養成 評価